

所 属	林政部 県産材流通課
担当(係)名	県産材流通担当 製材加工担当
内 線	3013 3015

(款) 6 農林水産業費 (項) 5 林業費 (目) (3) 県産材流通対策費  
(明細書事業名) 林業・木材産業構造改革事業費 他  
林業・木材産業構造改革事業費補助金 ぎふ証明材製品規格化支援事業費  
ぎふブランド材PR強化対策事業費 木質ペレット燃料利用促進事業費 他

【県産材流通改革プロジェクト】

低コストで安定した県産材の供給、未利用資源の利用拡大

1 事業費 【財源内訳】 【主な用途】  
74,015 国庫 58,558 補助金 67,242(合板工場整備等)  
(前年度 143,596) 一般財源 15,457

2 事業目的

県産材流通改革の推進

- ・県産材の利用拡大のため、B・C材(曲り材、低質材など)等まで幅広く利用できる体制を目指し、B材を大量に利用する合板工場の整備。
- ・県産材の販路拡大のため、県内外の工務店、設計士等との商談会の開催、製品規格の統一化のほか、ブランド材活用の看板設置により県産材の良さをPR

3 事業内容

(1) 林業・木材産業構造改革事業費補助金 [67,242千円]

- ・これまで未利用であった間伐材等のB材を大量に利用する合板工場の整備を支援

合板工場整備計画等の概要

事業期間：平成20年度～平成22年度(平成22年度上期操業予定)  
事業地：中津川市加子母地内  
事業費：約65億円  
事業主体：事業協同組合(県内林業関係団体とセイホク(株)グループが設立)  
原木使用量：約10万m<sup>3</sup>/年  
使用樹種：スギ、ヒノキ、カラマツ  
事業効果：林業所得の向上(素材生産量の増大、合板工場による新たな原木買取額約10億円/年等)、地元での新規雇用40～50名  
森林整備の推進(木材生産の活発化による間伐・再造林の推進)

(2) 新ぎふ証明材製品規格化支援事業費 [1,000千円]

- ・梁・桁材は柱材に比べ製品規格が格段に多い。(柱：10種類、梁・桁80種類)このため、円滑な流通ができない状況にあり、製品規格の実態を調査のうえ、建築関係者との調整により製品規格の統一化(種類を少なくする)を支援

(3) 新ぎふブランド材PR強化対策事業費 [2,000千円]

- ・本県のブランド木材の良さと併せて「ぎふ清流国体」の開催をPRするため「東濃松」、「長良杉」などを活用したPR看板を設置

(4) 県産材販路拡大促進事業費 他 [3,273千円]

- ・県内製材加工業者等と県内外の工務店、設計士等との商談会の開催など

(5) 新木質ペレット燃料利用促進事業費 [500千円]

- ・木質ペレット燃料利用を促進するための需要開拓調査を実施

